

## 公式訪問を終えて

国際ロータリー第 2580 地区  
2023-24 年度ガバナー

栃木 一夫

日台ロータリー親善大会にて  
2023 年 10 月 20 日（金）  
於 台北マリオット・ホテル



各クラブの皆様、公式訪問にご対応いただき誠にありがとうございました。おかげさまで、7 月 11 日所属クラブの東京北ロータリークラブを皮切りに、11 月 30 日東京リバーサイドロータリークラブまで、72 クラブ、そして 10 月 28 日東京臨海南ロータリークラブのチャーターナイトと予定通りに公式訪問を終える事が出来ました。コロナ禍での公式訪問をされた野生司義光パストガバナー、若林英博パストガバナー、そして嶋村文男パストガバナーはスケジュール調整等、本当にご苦労されたのだろうと改めて実感し、予定通りと言うのが申し訳なくも感じます。

公式訪問を終えてまず感じたことは、皆様との素敵な出会いへの感謝と皆さんが本当にロータリーのことを大好きなことです。好きすぎていろいろな意見が出るわけで、多様な意見を会員同士の対話を通じて信頼関係の構築ができるクラブが、元気なクラブなんだろうと感じました。私がロータリーに入って聞かされた好きな言葉が 2 つあります。

- ・『百人いたら百のロータリー活動がある。』
- ・『ロータリーはスルメのようだ、かめばかむほど、味が出る』

皆さん大好きなロータリーをより元気にしましょう。

マッキナリー RI 会長は、ロータリーは単年度制ではありますが、得意とすることを継続し、ただ継続するのではなく進化させていこうと強調しています。2023 年 10 月の国際ロータリー理事会でも、2025-26 年度以降、RI 会長の年次テーマとロゴの作成を廃止し、複

数年にわたる行動計画が尊重されるなど、ロータリーの継続性について重視されるようになります。クラブも持続可能な元気なクラブの実現の為にクラブビジョンを持ち、継続性を持ちながら進化していく事が大切です。

ガバナー公式訪問の卓話で、[昭和はあみだくじ、平成は巨大迷路] という作詞家阿久悠さんが時代を表現した言葉を紹介しました。あみだくじは、結果にたどり着きますが、巨大迷路はなかなか出口（結果）が見つからないという事でしょうか。

昭和のロータリーは、厳格な会則によりクラブが運営されていました。平成のロータリーは世界中のクラブの会員減少対策や運営上の課題解決のため、様々な会則変更がされ、新しい形のクラブも生まれてきました。令和の時代は、コロナによるパンデミック、ロシアによるウクライナ侵攻で始まり、気候変動等による災害等どんな時代になるのか、不安要素がたくさんあります。そんな時代にロータリークラブが果たすべきテーマは何でしょうか？

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というロータリーのビジョン声明をはじめ、中核的価値観、行動計画、年度目標を理解し、革新的な令和のロータリーを考え育てましょう。

皆様 良い年をお迎えください。2 月の地区大会、5 月の国際大会シンガポールでお会いしましょう。

# ポリオ感染の脅威は、**ゼロ**にしなければ 終わらない

## クラブ活性化ワークショップ・ポリオ根絶チャリティーディナーパーティー開催

地区ロータリー財団委員長 若林 英博（東京麹町 RC）

### クラブ活性化ワークショップ

10月6日（金）に東京で、そして10月13日（金）沖縄において、地区クラブ運営支援委員会の谷一文子委員長と共催でクラブ活性化ワークショップを「ポリオ根絶と公共イメージ」をテーマに開催いたしました。谷一委員長のご友人の大津晃子様は、3歳の時にポリオに罹患されました。インタビュービデオで幼少期から現在までの生活を伺いましたが、ロータリーがポリオ根絶活動をしていたことを全く知らなかったと話されました。ご本人始めご両親のご苦労など人一倍の努力で、現在は臨床心理士・公認心理師として働いておられます。当時は洋式トイレが少なく、外出時は確認が必要だったとか、装具は成長と共に変えなくてはならなかったことなど、初めてお聞きする内容でした。最後に大津さんは、「ポリオの根絶はもちろん大事ですが、罹患している皆さんが住みやすい街になってほしい」とおっしゃっております。



ワークショップでは引き続き、地区ポリオプラス委員会の小林康德委員長が2023年3月にパキスタンへポリオワクチン投与ボランティアに行かれた時のビデオをご覧いただきました。動画にあわせて、小林さんが解説をしてくださいましたが、現地の不衛生な環境のことや、宗教上の理由で投与が困難な状況があるということが生々しく伝わったのではないのでしょうか。

その後、テーブル毎にディスカッションを行い、動画を見た感想や「ポリオ根絶のために、今、何が出来るか？」ということ話を話し合い、ポリオ根絶活動に関して具体的な行動が必要なことを確認しました。



### ポリオ根絶チャリティーディナーパーティー



毎年10月24日は“世界ポリオデー”です。当地区では10月24日に「ポリオ根絶チャリティーディナーパーティー」と銘打ち、新型コロナウイルス感染症対策分科会長等を歴任し、ご活躍されている尾身茂先生を講師にお招きしチャリティーイベントを行いました。コロナ禍当時の感染予防の現場のお話、そして世界保健機関（WHO）の西太平洋地域事務局にてご自身がWHOのアジア代表として最前線でポリオ根絶活動を陣頭指揮されたお話を伺いました。当時約50億円の資金が必要な状況にも関わらず各国が躊躇している時、国際ロータリーは率先して1.5億円の拠出を決定し、それが呼び水になって日本政府（当時：細川内閣）が7.5億の拠出を閣議決定すると、各国が挙って出すようになり、50億以上が集まったと教えてくださいました。ロータリーに対してこの時のご恩は決して忘れられないとのことでした。

そして日本、中国、ベトナム、オーストラリアなどを含む西太平洋地域でのポリオ根絶が2020年10月にWHOにより宣言されました。

### 最後に

10月に開催したワークショップとチャリティーイベントを通じて、ポリオ根絶の活動は感染者が0になるまで継続が必要なこと、ロータリーはポリオ根絶活動をもっと世間にアピールすること、ハンディキャップを持つ方々にとっても住みやすい街にすること等が求められていると実感しました。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

PPS（ポリオ・プラス・ソサエティー）は、年間100米ドル（約15,000円）をロータリー財団のポリオプラス基金に毎年寄付することを宣言することで認証されます。この機会にぜひお申込みください（ガバナー事務所でお申し込みを受け付けております）



# 東京臨海南 RC 国際ロータリー加盟認証状伝達式開催報告

会長 杉浦 孝浩（東京臨海南 RC）

## 第 2580 地区は 73 クラブになりました

2023 年 10 月 28 日（土）、東武ホテルレバント東京にて東京臨海南 RC 国際ロータリー加盟認証状伝達式を行い、おかげさまでもちまして、皆様のお仲間入りが出来ました。当クラブは、東京臨海 RC30 周年記念拡大事業として立案され、チャーターメンバー 42 名、会員増強 1 名を加えて、現在 43 名で活動しております。新クラブアドバイザー大澤成美会員（東京臨海 RC）、拡大補佐斉藤実会員（東京臨海 RC）、発起人代表鈴木孝行会員（東京臨海 RC）、3 名の強力なバックアップと東京臨海 RC をスポンサークラブとして、今年度 7 月 7 日から活動を開始、7 月 19 日に国際ロータリーの加盟承認を頂きました。

## 国際ロータリー加盟認証状伝達式

10 月 28 日のチャーターナイト（国際ロータリー加盟認証状伝達式）には、斉藤猛江戸川区長はじめ水野功国際ロータリー理事エレクト、栃木一夫ガバナー、当地区や他地区のパストガバナー、地区・分区の役員の皆様やクラブ会長・幹事の皆様、そして臨海 4 クラブ会員の皆様と多くのご来賓の方々にお越し頂き、盛大に執り行う事が出来ました。この場を借りて感謝申し上げます。

第一部式典では、加盟認証状伝達式と寄付の贈呈を行い、ご来賓の皆様にご祝辞を頂きました。またチャーターメンバー全員で登壇し、お披露目の挨拶をさせて頂きました。第二部懇親会では、チャーターメンバーの紹介動画を放映し、ここでも先輩ロータリアンの皆様から温かいエールを頂きました。本当にありがとう



ございました。チャーターナイトを終えて、クラブ会員が一層団結したことを感じました。平均年齢が 46 歳とまだまだ若いクラブですが、東京臨海 RC から受け継ぐ奉仕の理念のもと、不易流行を掲げ、これから地域社会・国際社会で良いことを実践していく所存です。皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## クラブ概要

創立	2023 年 7 月 7 日
RI 加盟承認	2023 年 7 月 19 日
認証状伝達式	2023 年 10 月 28 日
例会場	東武ホテルレバント東京 (東京都墨田区錦糸 1-2-2)
例会日	第 2・4 金曜日 12 時 30 分～13 時 30 分 ※変則的な日程もあります
ビジター費	5,000 円
事務所	〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5 Aビル 6 階 Tel 03-5611-5511 fax 03-5611-5629 rinkai-m@club.email.ne.jp





## 日本と台湾の友好を深める～日台親善会議開催レポート～

地区日台親善委員長 佐藤 匡（東京青梅 RC）

第8回となる日台ロータリー親善会議が2023年10月20日（金）に台北マリオットホテルにて盛大に開催されました。Covid-19の影響もあり、約5年振りのリアル開催となり、日本からは410名、台湾から464名、合計874名の大きなイベントとなりました。

来賓として、將萬安台北市長、岡島洋之日本台湾交流協会副代表、ゲイリー C.K. ホアン国際ロータリー元会長、水野功国際ロータリー理事エレクトをお迎えしました。当地区からは、日台ロータリー親善会議総裁吉田雅俊パストガバナーによる祝辞、日台ロータリー親善会議議長栃木一夫ガバナーによる日本のロータリーの近況報告がありました。台湾からも、台湾のロータリーの状況や様々な日台の親善・交流の話題が報告されました。また2026年6月13-17日の日程で、ロ

ータリー国際大会の台北での開催が決定しており、その紹介もありました。親善晩餐会では、先住民族の楽団をはじめ、様々な催しがあり、最後は、参加者全員で「手に手つないで」を唱和し、友好を深めました。当地区からご家族もあわせ、196人の参加がありました。ご参加された皆様ありがとうございました。

台湾と日本のロータリアンの深い親善の輪を繋ぐ機会として、旧知の友人や新たな出会いの場として大いに盛り上がりました。この日台親善会議は、日本と台湾で交互の開催となっており、次回第9回日台ロータリー親善会議は、日本開催となります。日程は、2025年5月31日（日）に札幌にて開催予定です。これからも日本と台湾のロータリアンの友好の絆を深めてまいりましょう。





## 第 57 期派遣学生帰国報告会

コロナ禍明けの交換再開後の最初の派遣学生の帰国報告会が、9月24日に学士会館にて3年ぶりに開催



されました。アメリカ、フランス、ベルギー、フィンランドから帰国した8名の「小さな親善大使」たちから、派遣先で体験したこと、学んだこと、感じたこと、

地区青少年交換委員長 岡田丈尋（東京福生 RC）

そしてその経験を今後どう役立てていくか等々、思いの報告がありました。

青少年交換プログラムの目的のひとつに「平和と社会正義を推進するリーダーとして成長する機会を与え、青少年のエンパワメントを通じて好ましい変化を生み出すこと」が掲げられています。これに関しては少々大袈裟ではないかと感じていましたが、派遣学生たちの報告を聞くと、決して大袈裟な目的ではないことに気づかされました。

## 革命で勝ち取った自由から生まれる価値観

青少年交換学生 江幡 桃花（フランス・ブルターニュ 1650 地区・ランデルノー）

こんにちは、慶應義塾女子高等学校3年生、江幡桃花です。私の派遣先は、フランス・ブルターニュ地方のランデルノーで、アジア人を見かけることはほとんどなく、英語も通じない町でした。最初は苦労の連続でしたが、帰国した今は大好きな第二の故郷となりました。日常から多くの知識と日仏間の違いを発見し、フランス人の文化や価値観を知り得ることが出来ました。例えばフランス人は「自分の非は認めない、謝らない。」とよく言われますが、フランスの教育省が実施する語学力試験の口述問題でもその姿勢を求められます。また日本のような「察する」文化はなく、何でも説明するのです。さらに「自分の人生を自分で考え自分らしく生きる」ため、やりたいことは人それぞれで、まさに「みんな違ってみんな良い」という考えを持っていること、そして「完璧を求めない」という点です。そのことは日常会話でも表れ、C'est pas grave. (訳: 大丈夫、大した事ないよ) / Tant pis. (訳: 仕方ないね) / On verra. (訳: いずれ分かるよ) といった言葉を頻繁に耳にしました。

フランス派遣に向けて4つの目標を立てていました。

1. 小さな親善大使としての文化交流
  2. それを行うための言語習得
  3. 相手がどう思うかを気にせずに自分の考えを表明すること。
  4. 自分らしく楽に生きることを学ぶこと
- 結果として、DELFI（フランス語学力資格試験）B1 レ

ベル（仏検2級に相当）に合格、文化交流が進みフランス人の価値観から多くの学びがありました。そして、「たくさんの人と関わり文化交流や様々な活動に積極的に取り組む姿勢が、他の地区を合わせた中でも模範的な生徒だった」と評価いただき、1650地区の全ロータリークラブが集まる年次大会で、ポールハリスフェロー賞という特別な賞を日本人で初めていただきました。



ロータリー青少年交換プログラムの素晴らしさは、「平和につながる活動」だと実感しました。一度に約15カ国の学生と関わることで世界と繋がれます。知り合い仲良くなった世界中の友達と喧嘩や戦争はしたくありません。お互いを知り合うことが平和への第一歩なのだとよく分かりました。また、見知らぬ土地に1年身を置くことで、自分を見つめ、自分を知ることができます。そしてなんといっても、ロータリアンさんやホストファミリーからのサポートを受けることが出来ます。この素晴らしい機会をくださった、2580地区とスポンサークラブ



である東京北 RC の皆様、終始サポートをしてくださったカウンセラーの大森さんに心から感謝いたします。



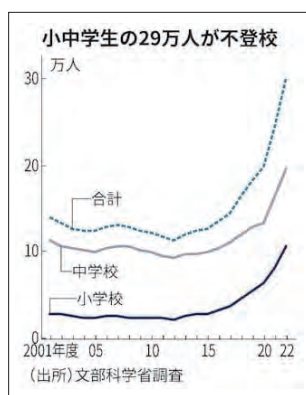


## 不登校とメンタルヘルス

医学博士・産業医 矢島 新子（東京神田 RC）

先日所属する東京神田 RC が寄付などの支援をしている長崎の NPO 法人有明支縁会を訪問する機会を戴きました。不登校により学校教育を受けられない児童・生徒に対する教育支援をしている団体です。産業医として担当している企業の社員の中には、親として不登校の子供を抱える方が、窮迫した状況を悩み、自分自身の就労にも影響しているケースがあり、私自身も大変関心がある問題であります。今回は親の立場から不登校について説明したいと思います。

文部科学省の調査によると、不登校はコロナ禍の2020年より急増し、小中学生の年齢では29万人にも上ります。彼らは教育のチャンスを失うことから、将来の就労機会の損失にもつながりかねない大きな問題となり、その人生を左右



することになるのです。不登校の要因は「いじめ」など学校の要因がイメージされますが、その理由として「学校に係る状況」が21.2%、「家庭に係る状況」が12.3%、「生活リズムの乱れ・非行・あそび」が11.7%に対して、「無気力・不安」が最も多い49.7%でした。『無気力や不安』の原因について、子どもは言葉で説明するのは難しく、また「不安」は漠然としており、不明確なものがほとんどなのです。いじめなど明確な要因でないことからその解決策が不明瞭となり、親としても途方に暮れてしまうことが多いのです。

### 不登校の両親のメンタルヘルス

2020年コロナ禍により緊急事態宣言が出され、企業では徐々に在宅勤務が認められるようになりました。予想以上にコロナ禍は長く続き、緊急事態宣言により学校に慣れる機会を失った子供の話はよく耳にします。不登校の子供を抱える親が悩み、休職や退職するケースもあります。ここでは典型的な複数のケースを合わせて、架空のケースをご紹介します。

#### 52歳の女性、一人っ子の長男は中学校3年

コロナ禍で中学に入学、その後コロナの影響で登校のない時期があり、友達もできないまま時間が経ちました。夏休み明けから、朝登校しようと思ってもなか

なか行く気にならずグズグズ。自分は在宅勤務のため、朝はなんとか子供を家から送り出し、登校できない日も自宅で見守りながら仕事ことができました。しかし、昨年からコロナが落ち着き、出社要請により朝は子供の登校前に家を出ることになり、サポートなしでは子どもは登校が出来ないのではないかと不安になりました。夫は短気で子どもに厳しく、不登校についても厳しい言葉を浴びせるため、自分が母として息子を守らねばならないと考えるようになり、帰宅が夫より遅くなる時には、二人だけにする不安で出社できなくなりました。上司に相談しましたが会社の規定で在宅勤務は継続できません。仕事でも子供のことを心配し、夜も眠れない日が増えました。仕事を休めないか、辞めべきかと悩み続け、彼女自身が欠勤するようになり産業医面談に至ったのでした。

### 親のメンタルヘルスへの影響

このように不登校は、子どもだけの問題でなく、親にも大きな影響を及ぼします。私の経験では特に母親の心理面への影響、就労への影響が多いと思います。育児中の女性の就労を後押しする制度により、就労する女性が増え、会社でもそれが理解されるようになりました。しかし、不登校の子どもを抱える親、例えば中学生の親が会社で配慮されるかというと、現場に任されているのが現状です。そのような状況で親自身がメンタルヘルス不調、うつ状態に至るケースも見られます。まずは不登校の子供への適切な対応が課題です。スクールカウンセラーや医療機関や自治体のサポートを十分に活用できていないケースも多々見られます。「家族の恥は人様に見せたくない」と言われる文化的背景により、家族全体が孤立しがちです。当事者がより広く支援を求めること、また当事者を取り巻く社会が理解し、支援的環境を提供することが望まれます。

#### 矢島 新子（やじま しんこ）

1999年ロータリー財団奨学生としてパリ第一大学大学院留学、医療経済専攻。東京医科歯科大学医学部を卒業後、研修医を経て博士課程にて健康推進医学専攻。その間、WHOのコンサルタントとしてラオスで活動。産業医の活動の中、メンタルヘルスの重要性を痛感し東京女子医科大学女性生涯健康センター（閉院）にてメンタルケアを学びながら10年間外来を担当。ドクターズヘルスケア産業医事務所設立。産業医・保健師による産業保健サービス提供、特にメンタルヘルス対策、企業研修、休職・復職支援などを実施している。

著書「ハイスベック女子の憂鬱」洋泉社

「健診・人間ドッグはもうやめなさい」アーク出版 など多数

## ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

## ▶ロータリー財団メジャードナー

レベル 1 浅見 亨 [東京紀尾井町]

## ▶マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

2 回 高山 肇 [東京お茶の水]

1 回 長尾 進也 [東京新宿]

渡辺 和久 [東京お茶の水]

平良 友美 [浦添]

## ▶ポール・ハリス・フェロー

岩佐 彰彦 [東京お茶の水]

## ▶米山功労者・メジャードナー

85 回 鈴木 孝雄 [東京池袋豊島東]

21 回 杉浦 正和 [東京]

20 回 迫 幸治 [那覇東]

16 回 内田 祐輔 [東京麹町]

芝 久雄 [東京江北]

15 回 竹中 康一 [東京]

14 回 林 克昌 [東京]

13 回 宮代 昌三 [東京池袋豊島東]

12 回 伊藤 隆 [東京江北]

11 回 小池 孝 [東京]

10 回 森田 富治郎 [東京]

長島 雅則 [東京]

黒川 光博 [東京]

## ▶米山功労者・マルチプル (9 回～ 4 回)

9 回 宮部 一弘 [東京池袋豊島東]

8 回 伊部 幸顕 [東京]

浅野 茂太郎 [東京]

蒲野 宏之 [東京]

榎本 孝之 [東京練馬西]

加古 博昭 [東京池袋豊島東]

7 回 福井 俊彦 [東京]

大谷 昌義 [東京新宿]

荒井 知久 [東京江戸川]

森岡 啓 [東京江戸川中央]

6 回 馬城 文雄 [東京]

薬師寺 啓子 [東京王子]

田村 純治 [東京江戸川中央]

福田 裕之 [東京江戸川中央]

5 回 小田切 満寿雄 [東京浅草]

戸塚 誠一郎 [東京江北]

志水 守 [東京青梅]

4 回 岡崎 由雄 [東京]

佐藤 博茂 [東京王子]

財津 康弘 [東京後楽]

## ▶米山功労者・マルチプル (3 回～ 1 回)

3 回 安藤 公秀 [東京]

本田 忠盛 [東京]

青木 隆幸 [東京お茶の水]

戸谷 治正 [東京浅草]

植崎 茂 [東京浅草]

白倉 儀輝 [東京浅草]

小林 弘 [東京リバーサイド]

伊澤 英敏 [東京リバーサイド]

遠藤 憲治 [東京リバーサイド]

藤田 哲朗 [東京後楽]

2 回 藤重 貞慶 [東京]

小西 武志 [東京]

喜多村 勝徳 [東京北]

鶴原 義行 [東京浅草]

滝沢 正隆 [東京浅草]

石川 和男 [東京リバーサイド]

1 回 浅野 敏雄 [東京]

神崎 正浩 [東京新宿]

永井 一史 [東京お茶の水]

加納 世志郎 [東京浅草]

田村 和義 [東京浅草]

星野 大記 [東京本郷]

新谷 仁海 [東京リバーサイド]

藤井 俊一 [東京リバーサイド]

定光 孝義 [東京江戸川中央]

土田 士朗 [東京東村山]

10 月 31 日分まで 敬称略、順不同

## 前年度ポリオプラス基金への支援に対する表彰

2023 年 11 月 19 日、神戸ポートピアホテルで、2023-24 年度ロータリー財団地域セミナーが行われてました。国際ロータリー 2580 地区は、前年度のポリオプラス基金への支援に対して表彰状をいただきました。



## グローバル平和推進地区認証状を受領

国際ロータリーより、グローバル平和推進地区認証状を受領しました。この認定は、毎年少なくとも 25,000 ドルの DDF または現金寄付を配分する地区が認証されます。当地区では 2 名の平和フェローを支援しています。今後とも支援をお願い致します。





**沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ認可**

沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブが2023年11月1日付けにて国際ロータリー理事会にて認可されました。創立会員は24名で、内2名は沖縄首里ロータリークラブとの二重会員です。

議長：新城 恵子

幹事：比嘉 佳代

議長エレクト：大城 裕美

例会：第1・第3水曜日 12～13時

形式：対面とオンラインのハイブリッド

対面会場：那覇市民協働プラザ

スポンサークラブ：沖縄首里 RC

**東京本郷ローターアクトクラブ加盟**

東京本郷ローターアクトクラブが2023年11月1日付けにて国際ロータリー理事会にて加盟承認されました。

提唱クラブ：東京本郷 RC

**沖縄カトリック中学高等学校インターアクトクラブ結成**

沖縄カトリック中学高等学校インターアクトクラブが2023年9月1日に設立され、国際ロータリーのインターアクトプログラムの定款と細則の規程に従うことに同意されましたので、インターアクトクラブの結成が認定されました。

スポンサークラブ：宜野湾 RC

**ロータリー米山奨学生学友会（東京）名称変更のお知らせ**

学友会に関する規程と改訂標準会則の運用を開始されるに伴い、各地区の学友会で名称が統一されることになりましたのお知らせします。

**変更後：「国際ロータリー第2580地区 米山学友会」**

**変更前：「ロータリー米山奨学生学友会（東京）」**

それに伴い、役員名称も理事長から会長に変更になりました。

**第2580地区クラブ数・会員数**

○2023年10月31日時点

クラブ数 73RC

正会員数 3,016名（内女性273名 9.05%）

入会者数： 20名（内女性3名）

退会者数： 5名（内女性1名）純増：15名

○2023年7月1日時点

正会員数 2,874名（内女性251名 8.73%）

純増：142名

**シンガポール国際大会登録早期割引期限迫る**

2024年5月25日～29日に開催されるシンガポール国際大会登録の早期割引期限は、12月15日（金）となっています。登録の早期割引は、500USドルです。これ以降は、2024年3月末まで595USドルとなっています。参加を検討している方はお早めにご登録ください。

**ガバナーナイト開催チャレンジ中！**

シンガポール国際大会にあわせて、現地で当地区が主催する「国際ロータリー第2580地区ガバナーナイト」について、最少催行人

数の120名に達した時点で開催を決定いたします。最少催行人数に満たない場合には、開催を断念しなければなりません。ぜひご登録をお待ちしております。

**第二次締切 2023年2月28日（水）**

☆開催概要

日時 2024年5月26日（日）  
19:00-21:00（受付18:30～）

会場 PAN PACIFIC SINGAPORE  
7 Raffles Boulevard,  
Marina Square

会費 お一人40,000円  
（ドレスコード：スマートカジュアル）

お申し込み・詳細は各クラブ事務局まで



ガバナーナイト登録

〔哀悼〕謹んで哀悼の意を表します

東京北ロータリークラブ

和田 吉民（わだ よしたみ）会員

ご逝去日 2023年 8月 8日 享年77

入会日 1982年11月30日

生活科学研究所 会長

ポールハリスフェロー 米山功労者

東京武蔵野中央ロータリークラブ

秋本 光雄（あきもと みつお）会員

ご逝去日 2023年10月14日 享年91

入会日 1984年 9月 6日

秋本産業株式会社 代表取締役

メジャードナーレベル1 ベネファクター

米山功労者